

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	445	課コード	0506	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 障害者福祉センター事業 個別事業 利用者送迎支援	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	健康福祉部・障害者福祉センター				
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	3人 (換算人数)	0.61人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 11,065千円	当該(開始)年度	(当初) 17,148千円 (うち人件費 5,368千円) (変更後) 15,829千円 (うち人件費 5,368千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらかぎ園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	障害者の社会参加を促進するために、障害者福祉センターで行う地域活動支援センター事業の利用者等に対して、送迎支援サービスを行うこととする。				
(3) 事業内容	内容	障害をもつ利用者には、移動手段に困難な状況があります。障害者福祉センターの主な事業である地域活動支援センター事業（各種訓練・創作的活動）やサークル活動などを利用される方々の送迎支援を行います。センターで定めた送迎場所・最寄駅（JR湖北・JR天王台）からセンターまでの送迎支援を行います。又、重度の障害者や自宅までの道路状況に応じては相談の上、リフト付ワゴン車で自宅からセンターまでの送迎支援を実施します。			当該年度執行計画	・センターの開所日に利用者送迎支援を実施します。（年間運行日数/226日） ・市所有のマイクロバス24人定員（車いす装着×2）1台、リフト付きワゴン車2台（車いす装着×2）計3台の運転手及び燃料費、車検費用込みで車輛運行管理業務を委託し市内全域の利用者送迎支援を実施しています。 又、バス添乗業務も委託にて必要に応じて手配します。				
		当該年度活動結果指標	送迎サービスの延利用人数	単位	人	想定値	10,000	実績値	9,864	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	施設通所者に対して、遅延なく安全(安心)な利用者送迎支援を行う。			直接	延利用人数	人	9,864	10,000		
平成31年度	施設通所者に対して、遅延なく安全(安心)な利用者送迎支援を行う。			直接	延利用人数	人		10,000		
令和2年度	施設通所者に対して、遅延なく安全(安心)な利用者送迎支援を行う。			直接	延利用人数	人		10,000		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		送迎運行管理業務委託料	11,065	送迎運行管理業務委託料	11,309	9,990	送迎運行管理業務委託料	11,309	送迎運行管理業務委託料	11,309
		バス添乗業務委託料	313	バス添乗業務委託料	321	210	バス添乗業務委託料	321	バス添乗業務委託料	321
		車輛修繕料	237	車輛修繕料(リフト2台・バス1台) 送迎運行管理業務委託料(9月補正)	150 △1,319	0	車輛修繕料(リフト2台・バス1台)	150	車輛修繕料(リフト2台・バス1台)	150
予算(決算)額	合計	11,615	合計	10,461	10,200	合計	11,780	合計	11,780	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		11,615		10,461		11,780		11,780	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.51		0.61		0.61		0.61	
	正職員人件費		4,488		5,368		5,368		5,368	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		16,103		15,829	15,568		17,148		17,148	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.81千円/人		1.58千円/人	1.58					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	障害者福祉センター、こども発達センター(二施設)とも公共交通機関のアクセスも悪く、最寄駅からも遠い立地条件にあります。身体に障害がある方、障害児をもつ家族が不便なく通所するためには、利用者送迎支援は必要な事業であり利用希望も増加している。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 利用者が安心して通所できるよう送迎支援を行うことが出来た。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった ■③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ■⑤サービス水準が確保された ■⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 交通の便(JR成田線、坂東バス、市民バス)本数、時間帯のアクセスが悪く最寄駅からも遠い立地条件にある施設の為、障害者が不便なく通所するには利用者送迎支援はニーズも高く、必要とされている。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 非該当						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		市内全域を走行している為、環境への配慮に送迎車輛は低排出ガス(ガソリン)仕様車を使用して送迎支援をしている。		市内全域の利用者送迎支援、走行のため環境への配慮としてリフト付マイクロバス(24定員)1台、リフト付ワゴン車(2台)計3台の低排出ガソリン車で自宅付近、最寄駅までの利用者送迎支援をしています。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	9,864	10,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 車輛の維持管理(点検・修理)などで運行できなかった期間があったため		
					9,864	98.64			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 ■③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	15,829	274	<削減の内容>		15,568	98.35	○要 ●不要		
	事業費削減率(%)				<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	63.18		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		人	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		63.36	100.28	○要 ●不要	

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	障害のある方やそのご家族が、障害者福祉センターやこども発達センターへ通所するために本事業は必要不可欠であるため、今後も引き続き現状どおり推進していく。	改善案及び展開方向
----	---	-----------

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード	446	課コード	0506	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 障害者福祉センター事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害者福祉センター			
	③事業主体	個別事業 地域活動支援センター訓練事業	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	6人 (換算人数)		1.41人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	25,898千円 (うち人件費 12,408千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33303	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	第5次健康福祉総合計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	あらかぎ園と障害者福祉センターでは、一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。			事業目的	障害者の身体機能の維持及び向上に必要な訓練を実施し、社会参加を促進するための援助を行う。				
(3) 事業内容	内容	自立訓練、社会適応訓練、給食サービスを実施する。 ○自立訓練 自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な個別・集団訓練を行う。 ○社会適応訓練 社会参加の促進に向け外出訓練やパソコン講習の実施、また、家庭内の役割獲得のための家事動作訓練等を行う。 ○給食サービス 1日通所される利用者の方に、給食を提供する。			当該年度執行計画	各専門職の指導による個別訓練・グループ訓練・マシントレーニングを実施する。また、社会適応に向けた外出訓練・パソコン講習・家事動作訓練等を行う。				
		当該年度活動結果指標	訓練参加実人数	単位	名	想定値	85		実績値	98
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	利用者の社会参加を促進する。			直接	訓練参加実人数		名	98	85	
平成31年度	利用者の社会参加を促進する。			直接	訓練参加実人数		名		85	
令和2年度	利用者の社会参加を促進する。			直接	訓練参加実人数		名		85	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和2年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		嘱託職員報酬(3号3.35人、2号1.25人)	6,185	嘱託職員報酬(3号3.3人、2号1.3人)	5,687	5,543	嘱託職員報酬(3号3.3人、2号1.3人)	5,687	嘱託職員報酬(3号3.3人、2号1.3人)	5,687
		臨時職員賃金(4人)	3,019	臨時職員賃金(5人)	4,463	4,351	臨時職員賃金(5人)	4,463	臨時職員賃金(5人)	4,463
		旅費	4	職員検便検査手数料	86	70	職員検便検査手数料	86	職員検便検査手数料	86
備品購入	1,337	備品購入	895	622	備品購入	895	備品購入	895		
研修費	0	給食業務委託	1,880	1,869	給食業務委託	1,880	給食業務委託	1,880		
給食業務委託	1,863	消耗品	99	62	消耗品	99	消耗品	99		
消耗品	118	医薬材料費	27	27	医薬材料費	27	医薬材料費	27		
施設賠償責任保険	22	施設賠償責任保険	21	11	施設賠償責任保険	21	施設賠償責任保険	21		
施設入場者傷害保険	371	施設入場者傷害保険 (流用)	332	160	施設入場者傷害保険	332	施設入場者傷害保険	332		
予算(決算)額	合計	12,925	合計	13,335	12,715	合計	13,490	合計	13,490	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		11,476		12,150		12,305		12,305	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	1,449	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	1,185	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	1,185	<input type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	1,185	
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.31	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41	
	正職員人件費	11,528	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	
	嘱託職員報酬額	6,185	5,686	5,686	5,687	5,687	5,687	5,687	5,687	
	臨時職員賃金額	3,019	4,463	4,463	4,463	4,463	4,463	4,463	4,463	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		24,453		25,743	25,123		25,898		25,898	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		287.68千円/名		302.86千円/名	256.36					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし、活発に社会参加していくことが出来るような支援体制が必要である。地域活動支援センターでは、障害者の自立と社会参加を促進し、生活の質的向上を図れるように、自立訓練や社会適応訓練を実施している。現在、我孫子市内では、リハビリテーションの専門職員が訓練を実施している障害者施設がない。そのため、介護保険の対象とならない障害者の訓練を、障害者福祉センターで実施していく必要がある。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 市内の障害者施設や障害者相談支援事業所と連携を図ることにより、昨年度に比べ利用者数及び延べ利用回数が増加したため。				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他			●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他				○要 ●不要		
	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容		
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
	専門的知識や技術を要するため、市民の参加や市民との共同は困難である。									
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他			実施した具体的な内容				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(5) 目標設定は適切か？	現況値(a)(名)	目標値(b)(名)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	98	85	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(名)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 市内の障害者施設や障害者相談支援事業所と連携を図ることにより、訓練事業の参加者が増加した。			
(6) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	○⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>			
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等> 適切な計画及び事業の実施により想定通りの事業費となった。					
	0.33	Δ5.28								
(8) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	0.33	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 適切な計画及び事業の実施により目標値以上の数値となった。			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ●事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	市内の障害者施設や障害者相談支援事業所と連携を図ることにより、訓練事業へのニーズは高い。しかし、歳入の不足や施設の老朽化に伴う修繕費の増大等に対し、事業の見直しが必要である。				改善策及び展開方向 平成30年度は給付事業への移行による歳入の確保に向け、事業のあり方について検討を行ってきた。今後は移行を検討している給付事業の効果検証や経費削減・人員の適正配置等を継続して審議していく。					
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (447), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (448), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with a detailed budget breakdown for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note on the evaluation of the Deika Club and future plans.

事務事業評価表（平成30年度）

事業コード 452 課コード 0506 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 障害者福祉センター事業, ②実施計画への位置づけ ●有 ○無, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 平成18年度 ~, ⑥担当職員数 2人 (換算人数 0.15人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 950千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 33302, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点5, 基本計画地区別計画への位置づけ ○有 ●無, 部門別計画への位置づけ (計画名) 第5次健康福祉総合計画
(2) 目的: 施策目的・展開方向 住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。
(3) 事業内容: 内容 (1) 失語のある人に対し、失語のある人向け意思疎通支援者を個別に派遣します。(2) 失語のある人向け意思疎通支援者の会話技術の向上を図るために、スキルアップ講座を開催します。
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 失語のある人の社会参加を促進することができる。
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討 ○有 ●無

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか？
(5) 目標設定は適切か？
(6) 事業費削減の工夫をしているか？
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 本事業は、平成30年度より地域生活支援事業における意思疎通支援事業の必須事業となったため、今後も継続して実施するべきである。
改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (454), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成30年度）

Header table with columns: 事業コード (455), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and improvement directions.

Summary table for post-evaluation with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1411), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a comment on the 'Barrier-free map' project.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1555), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section for feedback and future plans.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1556), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 目標達成.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a checkbox for '現状どおり推進' and a comment box.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1557), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, citizen participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including a summary table and a comment box.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (1558), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for (1) target setting, (2) cost reduction, and (3) target achievement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成30年度)

Header table with columns: 事業コード (2065), 課コード (0506), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details for fiscal years 29, 30, 31, and Heisei 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the project's impact and future directions.